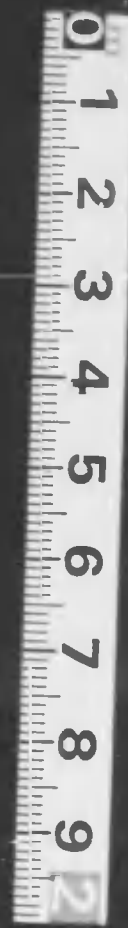


週報寫眞

編輯局報情

ノセ十・號二冊百二第・日五月八



札立の時

（日露水）

第七十三巻

地を蹴りて隼は空に征き
 遂に歸らず
 南溟の虚空高く
 雄魂は神と歸したり
 己れの死灰の中から甦り飛び立つといふ
 不死鳥のやうに
 その英魂から生れ羽ばたく幾萬の
 護國の隼のあることを信じよう
 死せず 荒鷲死せず



噫、軍神 加藤建夫少將

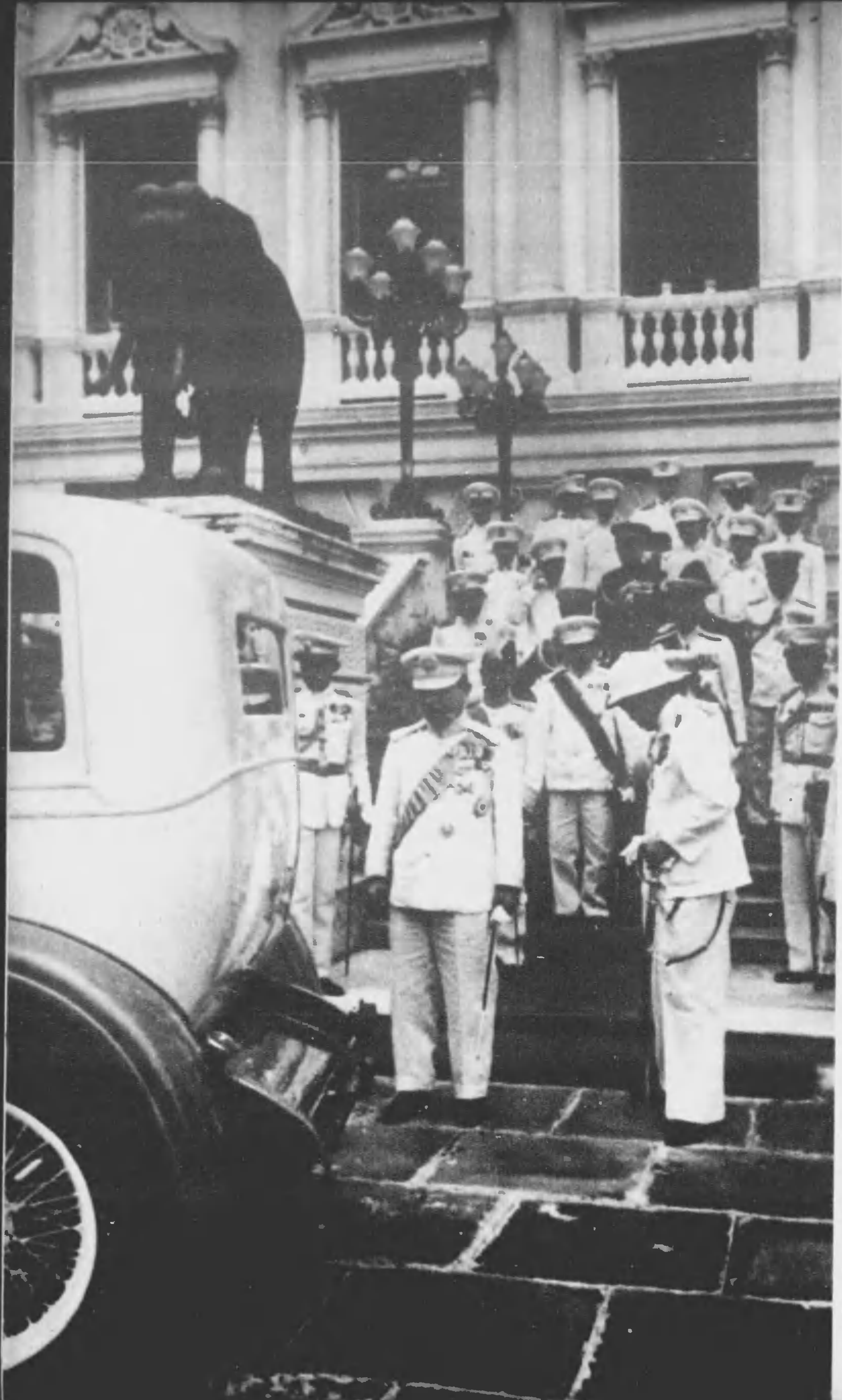


陸軍少将の加藤建夫少将は、南方方面
 は過ぐる五月二十一日、印緬國境方面
 で敵機と激戦中不意愛機に火を食ひ、
 燃焼さかまくインド洋上に空征く屍と
 なつて散つた。これが加藤少将の最
 後であつた。

この壯烈な戦死傳はるや、南方方面
 陸軍最高指揮官寺内大将は、痛惜極
 りたしとして、抜群の武功を賞したが、
 その感状は長くも天聰に達する光榮に
 當り、特に陸軍中佐から陸軍少将へと
 階級を越級せしめられたのであつた
 何といふ餘榮であらう。

加藤は支那事變勃發以來、支那大陸
 に、マレーに、スマトラ、ジャバに
 として最後はビルマに、主要作戦には
 いつも加藤少将の現はれないことは
 なく、怒るべき攻撃とすばらしい技
 能を以て、實に敵機二百數十を撃破
 し、向ふ所敵の群集は悉く潰伏せしめ
 られたのであつた。しかも高邁なる人
 格と卓越した指揮統率によつて全空軍
 に鳴り渡り、感状を授けられること皆
 に七回、まことに空前の武人であつた
 あ、この空の至寶も今は亡く、英
 靈は全國民の限りない感謝と崇仰をあ
 つめて、とこしへに神靈まつた。しか
 し軍神の千古不滅の忠魂と燃ゆるか如
 き闘志は大東亞のいよまた光と共に煌
 然ときらめき、われら皇國民の胸中に
 いつまでも生き残るであらう。

在りし日の加藤少将



廣田特派大使

□ 國王陛下の重大使命を受けた廣田大使は王宮を臨み、王室茶會の自動車で前倉に向ふ

在タイ國 日本帝國大使館 杉山・尾崎兩特使 廣田の理想實現に邁進せんとを強調してタイ國民に非常な感銘を與へた

使命果たし



□ フラタオ王宮を脱して歩を過ぎ一行、中央廣田大使、その後廣田大使、左衛門上大使

七月十日バンコク、ジャットラーグロに到着した廣田大使は出迎へのビアン首相と感戴の握手をした
 □ 日タイ同盟慶祝管轄使節廣田特派大使は七月十二日、白の大禮服に威儀を正し、隨員一行を従へて、タイ國王宮に参入、謁見の間に攝政會議議長アジット殿下に拜謁、天皇陛下よりタイ國王帝への國書を捧呈して、こゝに特派大使としての重大使命を遺憾なく終了した。使節一行は、タイ國政府要路者と謁見、色見を交換するとともに、新聞、ラジオを通じて同盟國たる

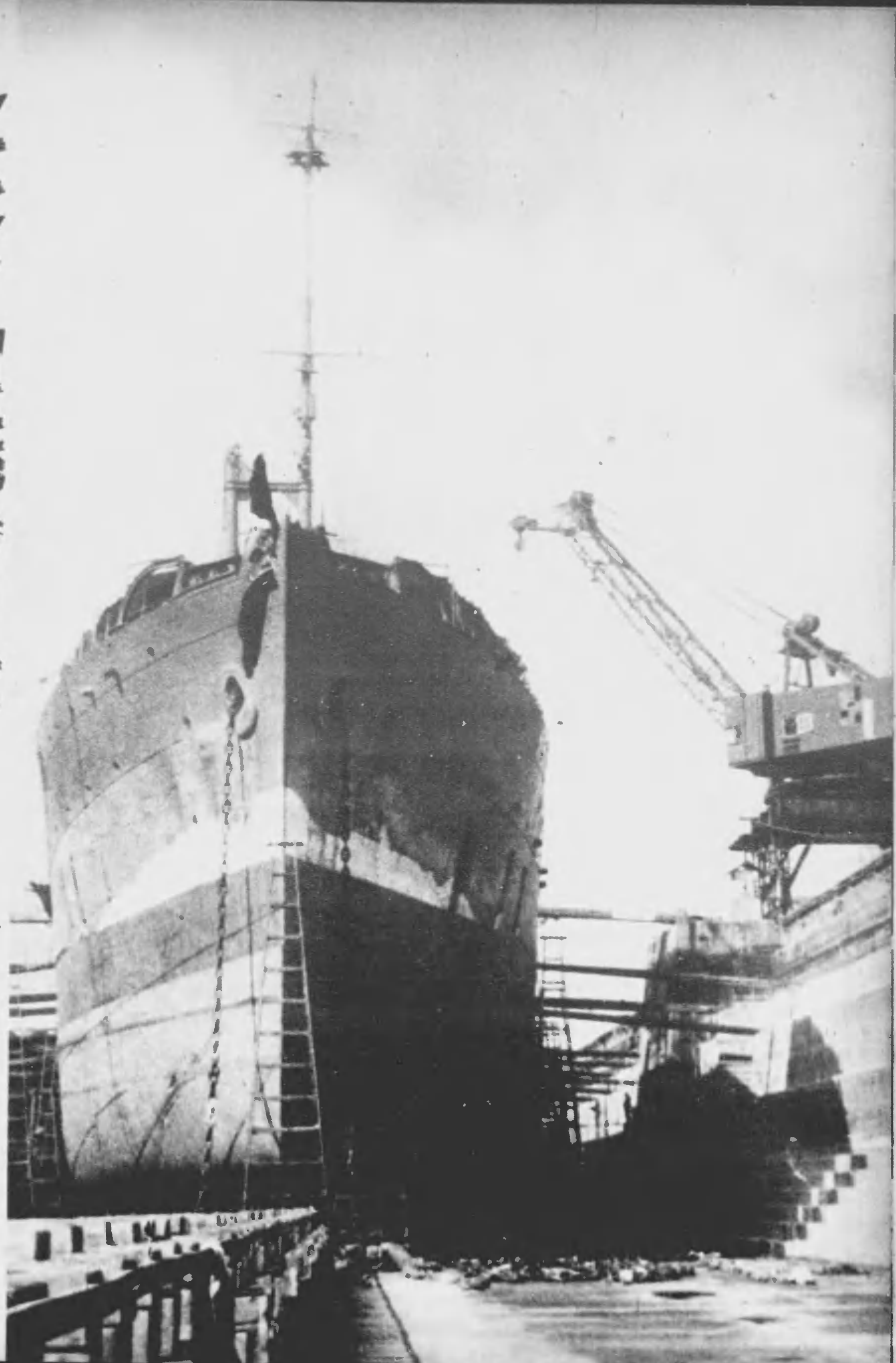


□ 慶祝一色にぬりつふされた道にはタイ國女學生が兩儀を打ちよつて一行を迎へた



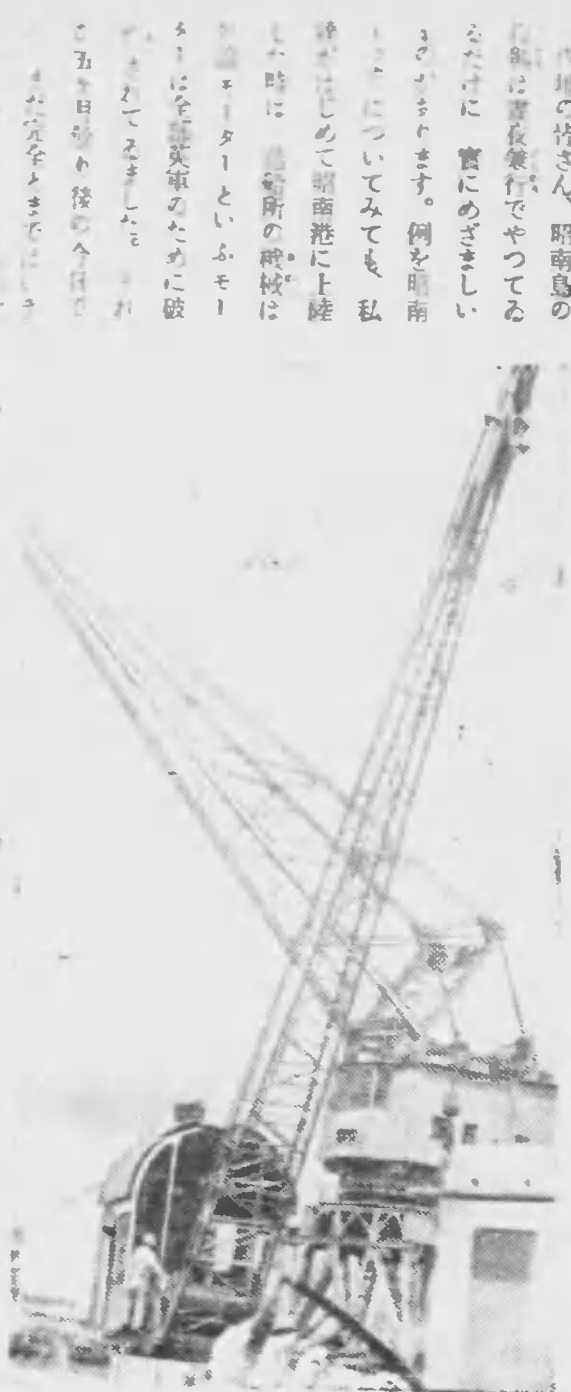
□ けらんたるナンテアの下に情緒豊かなタイ國舞踏がくりひろげられた
 □ 樂會の終り、タイ國舞踏に拍手を送る廣田大使





セレーター軍港今や全し 昭南島

昭南島の軍港は、先づクインクス・ドックの排水ポンプから
 取り壊されたクインクス・ドックで修理中のものが、船
 スクリューの修理をするマレー人工員
 撮影 木村海軍報道班員



各地の皆さん、昭南島の
 軍港は、昨夜飛行でやつて
 るだけに、實にめざましい
 こととなります。例を昭南
 島について見ても、私
 達ははじめて昭南港に上陸
 した時に、船所の船は
 船スクリューといふモー
 ターは全英軍のために破
 壊されてしまふ。これ
 が五日後の今日まで
 修理されておらず、
 船が自航に十分能力で
 ない状態に陥るやうにな
 りました。

「早くもクレーンの運送を開始したセレーター軍
 港」 英艦の四ヶ國語を話さねばなりません。ところが
 船所の低い工員といふものは仕方がないもので、高
 なる英語、支那語なら支那語だけで、通じればいゝん
 が、この四ヶ國語をこつちきに変合せを奇妙な言葉に
 なければ通じません。

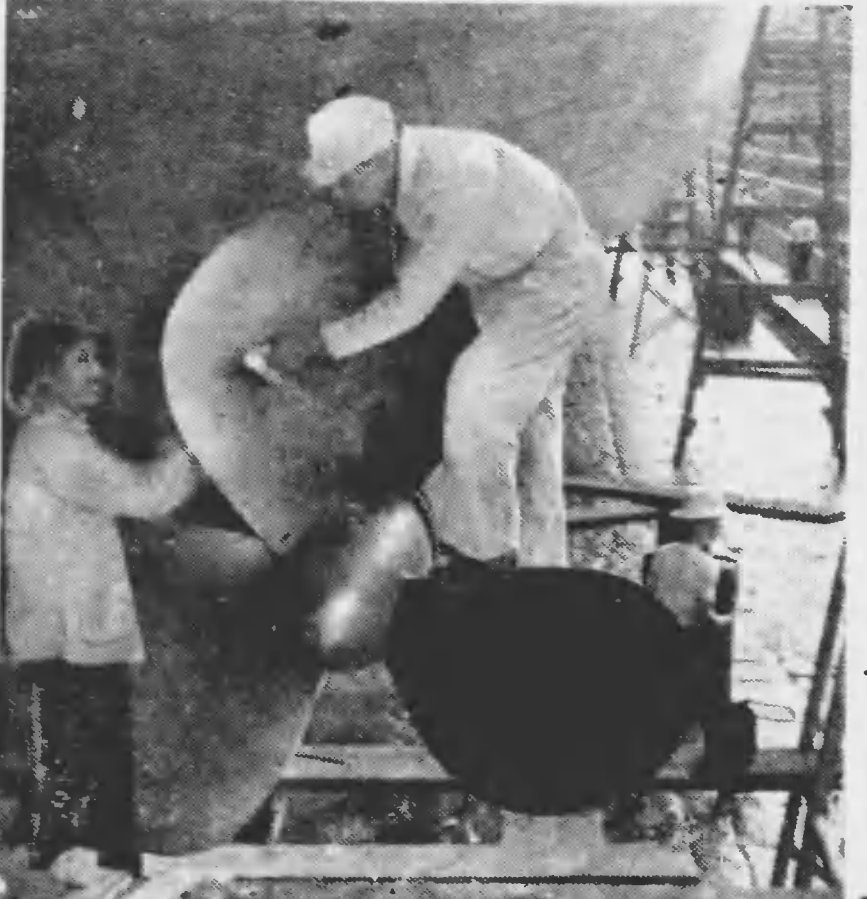
「イニピストン快々の船」
 といふと、イニはマレー語の「これ」の「イニ」は英
 語、快々の支那語の「早く」を合して「イニピストン」
 となるわけですね。

昭南島の軍港は、元々ケルメル・ハーバーとクイン
 ス・ドックの二つに分れておりましたが、昭南島の命名と
 第一船所、第二船所と日本名になりました。

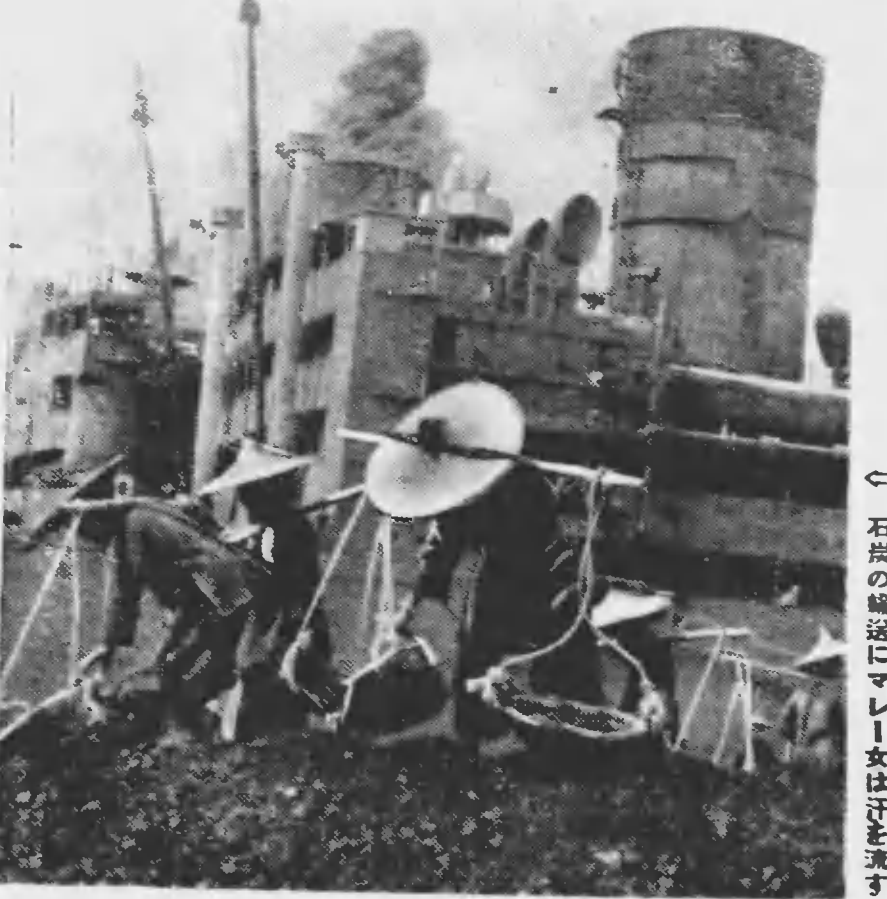
軍艦といふのは、船は一年に一回はドックに入
 って、船底についた藻や油草などの附物を削り落さない
 と、燃料や電力の點で相違を招くこととなります。か
 らしたときに、船底の中心にある昭南島のドックが復舊
 して、この役割を果してゐることは、いふまでもなく
 は修理を了へた。○使が、船とドックを出ておりましたが
 手紙の渡り、私には、船に手紙を渡すの叫びました。



「手紙」 昭南島の兵隊さん、昭南島の家族も待たれる
 ものは手紙の渡りかた。これは昭南島から渡後の信
 へのうれい、信りかうんと信りてゐる手紙の渡りかた



石炭の輸送にマレー女は力を注ぐ

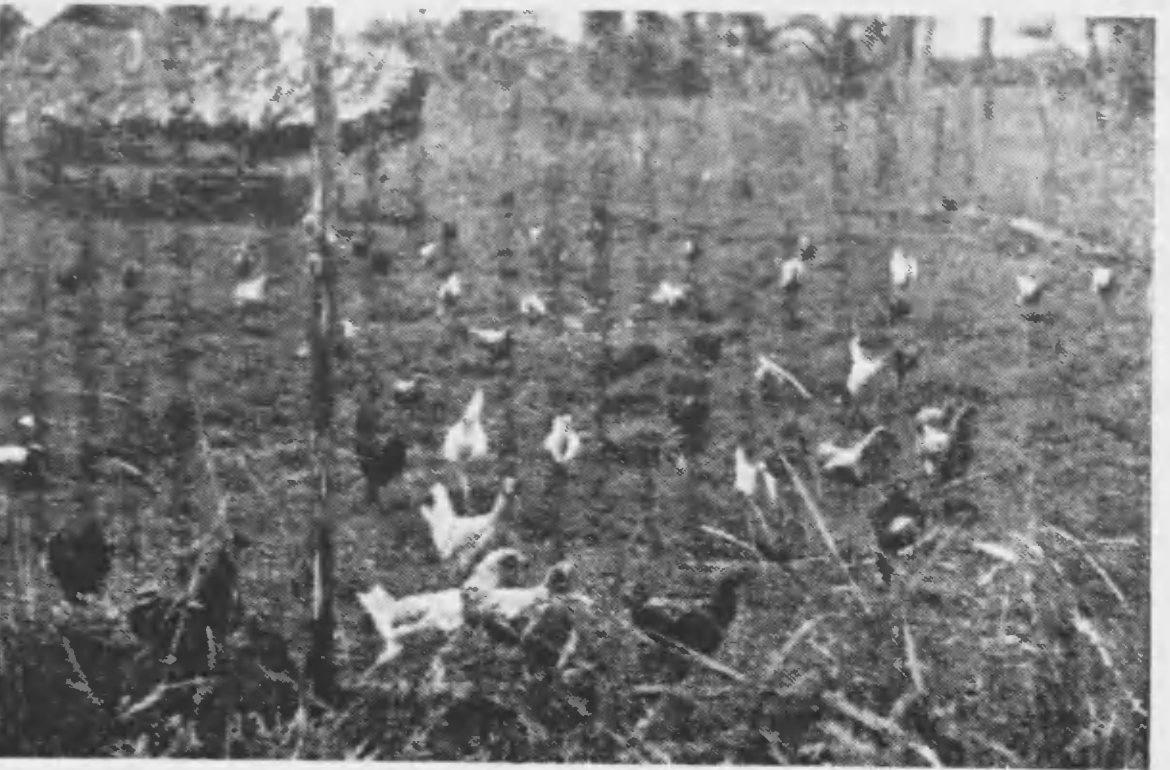
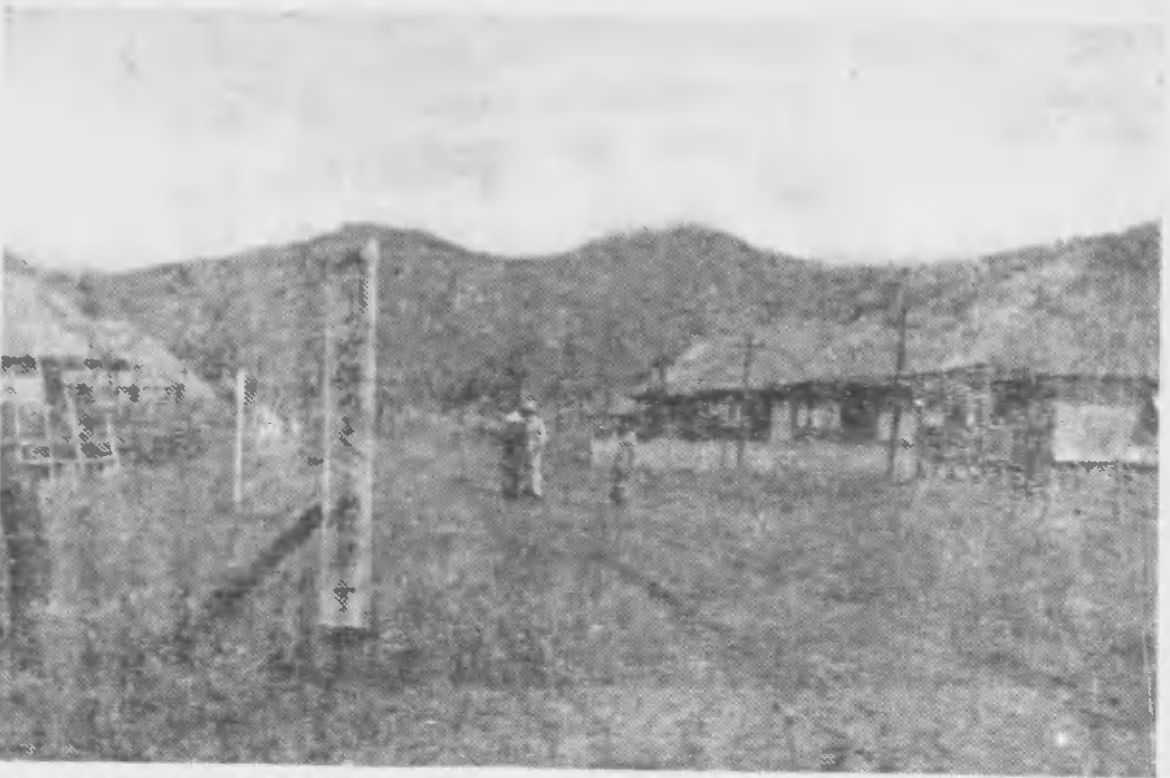




ベナル・コロニーには、美しい美しい牛が八百五十頭ばかりゐる。



先住民は、無用の者種内に入るを許さず、牛を立、囚人部落の保護を固めてゐる。



囚人たちは、わが國から輸入した名古鷹コロチンの養鶏を行つてゐる。



三百五十町歩もある水田の維持には忙がしい。腰に吊つた鎌刀は、苗を束ねる彼等は素外おとなしい。

囚人部落も日の丸に協力

世界一の囚人部落といはれるベナル・コロニー(刑務植民地)はパラワン島イワヒキの東端、ピュファルト山の山麓に見渡す限り廣漠とひろがる椰子林と果樹園に包まれた中にあ

指導に來たわが陸軍隊の歸りを見送る囚人とその家族たち

る。この僻かな囚人部落にわが陸軍隊がはじめて進駐したときは、囚人の間に相當の動搖を來したといはれるが、○隊長の温かい適宜の處置で、すつかり落ち着き、今ではかへつて敬ひの神として全囚人が慕ひよつてゐる。

囚人は殺人、強姦、婦女暴行等の罪を犯し三年以上の者ばかりで、全部赤い制服を着て作業をしてゐるが、ベナル・コロニーは實に大掛りなものである。

このベナル・コロニーはアメリカの最も進歩した刑事政策によつて實施されたものといはれ、重刑者は洗罪に處して閉鎖工作等にあたらせ未開地の開墾と職とを興へながら改悔させよとするとする一石二鳥も三鳥もねらつたもので、一九〇四年の創設といはれ古い歴史を誇つてゐる。

撮影 國平海軍報道班員



赤い服を着て、彼等は農場でせつせと働く



くわ呼歡に草煙の給配

町のダンリマサ・オネルホ

タラカン島の攻陥に續いて皇軍が南部ボルネオの首都パリックパンに上陸したのは去る一月二十四日であつた。それから半歳餘り、皇軍の指導の下に、南部ボルネオは東西の共栄をはかつて活潑に動きだした。パリックパンの北麓、石山の町で名高いサマリタの姿を紹介しよう。

皇軍攻下のサマリタの町に、民政部の指導で先づ出動した。住民の慰問は皇軍の勝利の報に押した人々の顔に現れた。



撮影 谷村海軍報道班員

町の中心には、インディア人の顔に、皇軍の指導を受けるには、先づ見せしめられた。開かれた日本語学校にインディアの青年男女は殺到する。



皇軍の進軍を拜見したサルタンは、自ら進んで皇軍に協力する。サルタンは王座を離れて皇軍の歓迎を受ける。



サマリタの皇軍はローリー・テイカ(三車)である。日本製の日本セーター(一家に仲よく三輪車に乗つて親戚を訪問する。





「来たて、頂上を」かつ、一隊、高く日章旗を打つて来た。あの時に似た感激が、と、富士達のかすめた。



出役を前の脱ごしらへに、三つ、三つ、傷病の身になつて富士はこれで二回目だ。山登りは愉快だよ、と加藤さんの元氣な氣持も頼母しい。

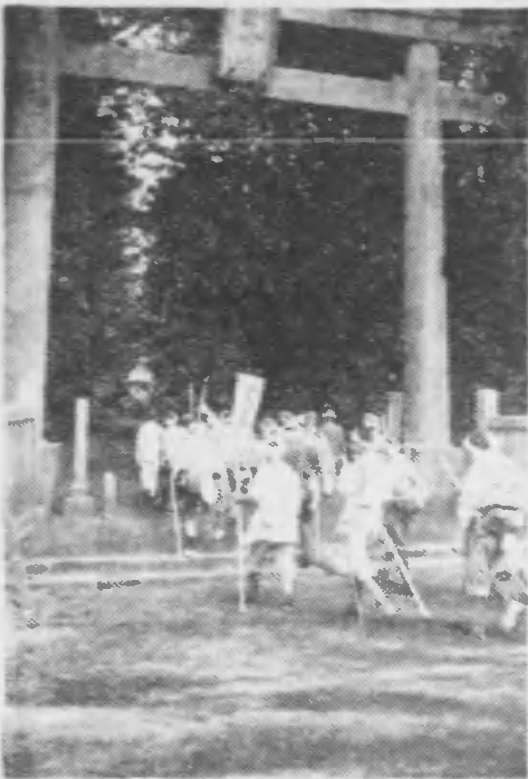


「成層五層、山頂を分面に六合、附近を六根清澄、六根清澄」

「頂上、浅間神社の院の前に祈願をこめ、高々と傷病軍人五五を、高々と」

片足登山隊 三十一日

山登士奮揚宣威國の人軍傷下府京東



電車で富士吉田駅について、一行は「成層五層」隊を先頭にまづ吉田口の浅間神社に参拜した。

大日本國軍軍人會東京府支隊の足跡、勇士達は、御園に脚を擡げて以来、歩一歩、あせらず失墜せず、再起の道を踏みこえてきた。人生行路をそのまゝに、さらに強い試験に耐へようと七月二十二日、國威宣揚隊の富士登山を決行しました。

天皇會社に大國威を挙げた、六十五歳の老勇士大橋翁をはじめ、大東軍に左大國威を挙げた折橋君(二十二歳)等二十七勇士は、日の丸の白襟巻をも、渾々しく胸に光榮の傷病軍人記章を輝かせて、重なる百重の作業用巻も、一人の落伍者もなく、無事頂上を極め、は、傷病軍人會長球巻になる「國威宣揚隊」新編隊を、成層五層、山頂を分面に六合、附近を六根清澄、六根清澄と、この前線の行軍にもおとらない肉體の試験を見事に突破して、體得しえた、新たな人生観に、より一層しつかりとした人生を生き抜く決意と希望を固めて下山したのでした。



☆ 草鞋の紐も締め直した。さあ脚よ、しつかりたのむぞ



防空待避の所作り方



空襲の場合、焼夷弾くらゐは一つ残らず投下されるといふ覚悟で、一家揃つて明所にわが家を守ることがあることはいふまでもありません。しかし、敵は焼夷弾といつしよに爆弾を用ひることもありまゝから、不用意に高い姿勢で窓際に立つたり、外へ出たりしてゐると、爆弾の破片や爆風で思ひがけない大怪我をしたり、命を失ふことがあります。ですからもし高射砲の音や飛行機の爆音が聞えたら、すぐに手近な場所へ待避して、一時危険を避けることが必要です。

すでに待避したやうに、備へさへあれば空襲は何ら怖るゝに足らないものです。私たちが、こゝでいよいよ防空必勝の態勢を整へるために、防空上必要なところでは、なるべく早く適當な待避施設を作りませう。手ねていふまでもなくこの待避所は決して逃げかくれるためのものではなく、無駄な危害を避けるためほんのしばらくの間待避するところですから、焼夷弾が落ちたことを知つたらその時には、すぐさま飛び出して防避活動に移らなければなりません。そのためには防火用水やバケツ、砂などの消防資材の置場所をもよく考へておいて、いざといふ場合にまごつかぬやうにいたしませう。

待避所の存続を確保しつて利用しつて例

待避所は何も形式にこだわらなくて新しいものをわざわざ作る必要は少しもありません。地下室や穴倉などがあれば、なるべくこれを利用してやうにして、無駄な資材や努力の節約を圖りませう。

待避所の材料の持手つて例

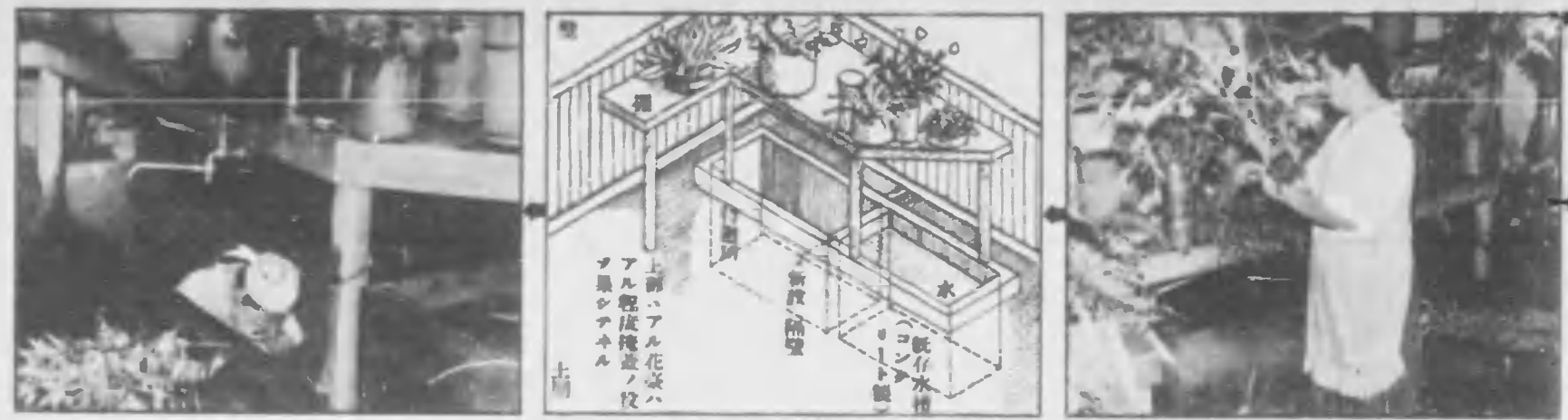
既存の施設がなければ手持ちの材料を利用して規模も設備も簡易なものを作りませう。簡易でも長持でもまた簡易でも、安全な彈片よけの材料になりませう。商店などでは商品がそのまゝ立派に役立ちませう。但し床に作る場合には、日常の生活や仕事に餘り不便のないやうに工夫することが肝要です。なほ待避所はなるべく防火活動に便利な場所を選んで設けなければなりません。大體作り易い場所を選べばよいです。

待避所の危険率比較圖

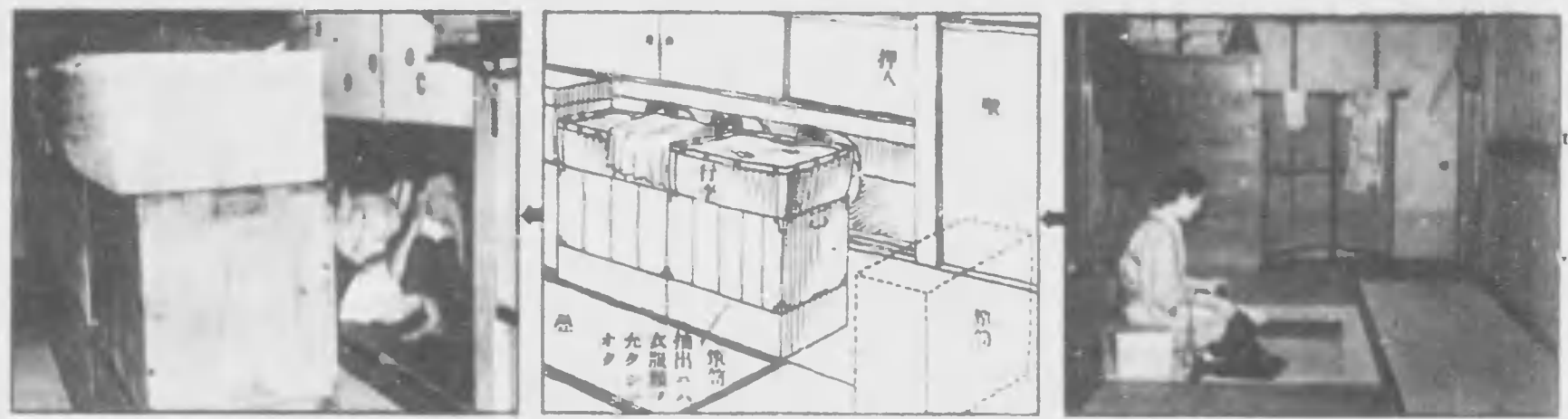


待避所の位置及び構造

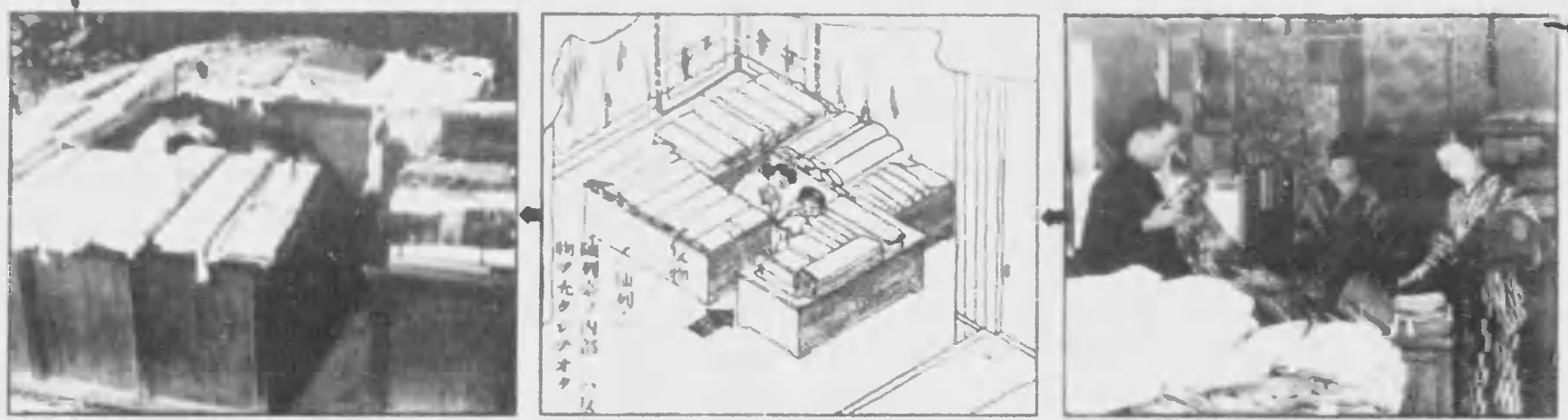
- 一、位置 待避所の位置は屋内でも屋外でも構いませんが、屋外の防空壕ですと雨水が流れこむ心配とか、夜間や寒時の使用に向かないといふやうな難点がある上に、自分の家に落下する焼夷弾を監視し、緊急防火のため迅速に出動する上にもとく不便ですから、やはりなるべく屋内に設けることが望ましいわけですね。
- 二、高さ 大體待避者四人について半坪(一坪程度が標準)です。但し床下に設ける場合、土を掘る途中で水が湧いてきて十分の深さが得られないので、うつ伏して待避するものでは二人について半坪程度とします。なほ待避所はこの家の居住者全員を收容できるだけのものを作らなければなりません。被害を一部分に限るために、一箇所の收容人員は五人程度の小規模のものを分散して設けるが、大規模のものでも二十人程度を限度とします。
- 三、深さ 坐つて入れるくらいがよいのですが、やむを得なければうつ伏せになつてゐられる程度でも十分です。従つて坐式のものには大體九十センチ(約三尺)、伏式のものには大體三十五センチ(約一尺二寸)が標準です。
- 四、周壁 地面を掘つたものはそのまゝよいのですが地上につくる場合は周壁を設けます。周壁の厚さは、土砂を盛り上げたもの……八十センチ(約二尺六寸)、土嚢や空箱に土砂を詰めたもの……七十センチ(約二尺三寸)、板と板との間に砂や煉瓦などを詰めたもの……五十センチ(約一尺七寸)、角材を積み上げたもの……五十センチ(約一尺七寸)、畳を重ねたもの……九十センチ(約三尺)、部材を積み上げたもの……百センチ(三尺三寸)、書櫃などを詰めたもの……四十センチ(約一尺三寸)が標準です。
- 五、掩ひ 床下に設ける場合には、なるべく厚板や敷板程度の簡易なものをおかふませう。
- 六、下敷き 普通の場合下敷きを敷きませんが、水が湧くやうな場所では、土を掘る途中水が湧いてきたらそこで掘るのを止めて、掘つた土を周囲に盛り上げて深さを増やませう。



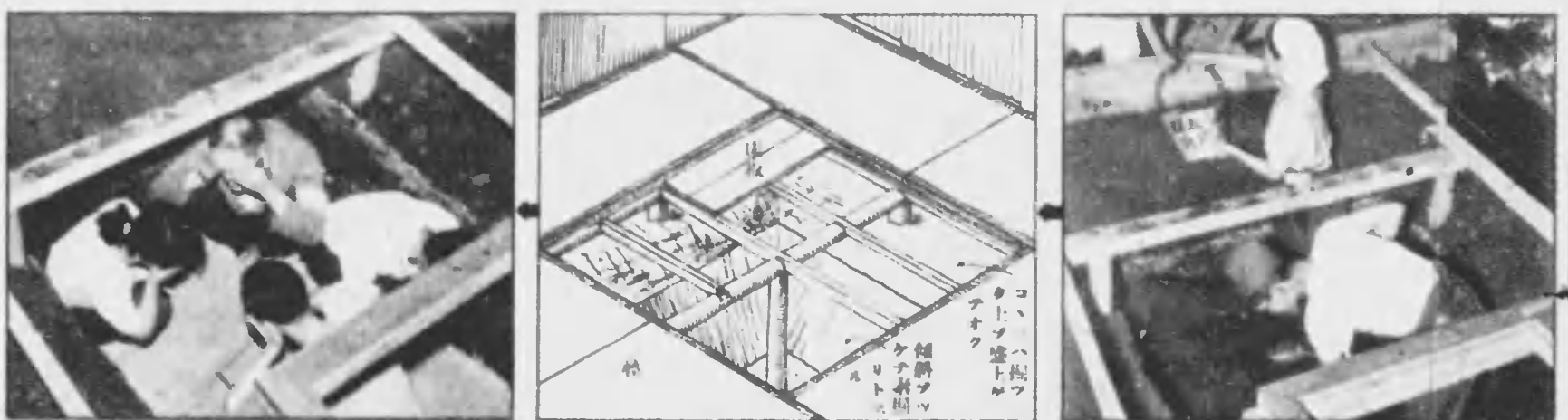
花はんだ活けておく花のんき屋水の槽に かな切つてつて方利用し 相安度高の待避所です



日常生活に余り不便なく 簡易 長持 行李をこなせるかへつてつて一一般住宅の二階の構へです



反物類をべおて呉服屋のんき屋列を 一尺寸を置くかへつてつて一 商賣のきやうにうに夫もたすです



最寄りの警備隊や町會に談して 家内自つて分ちたの手立てに 正しきいれり待避所です

床下の地面をつつて例

手持ちの材料もない場合は壁をあげ、床下の地面を掘つてその土を周囲に積めば、それだけで安全な待避所ができます。土を掘る途中水が湧いてきたらそこで掘るのを止めて、掘つた土を周囲に盛り上げて深さを増やませう。



壮丁金杖 あらがる

埼玉県水着壮丁の会分人軍 在町父秩藤玉埼

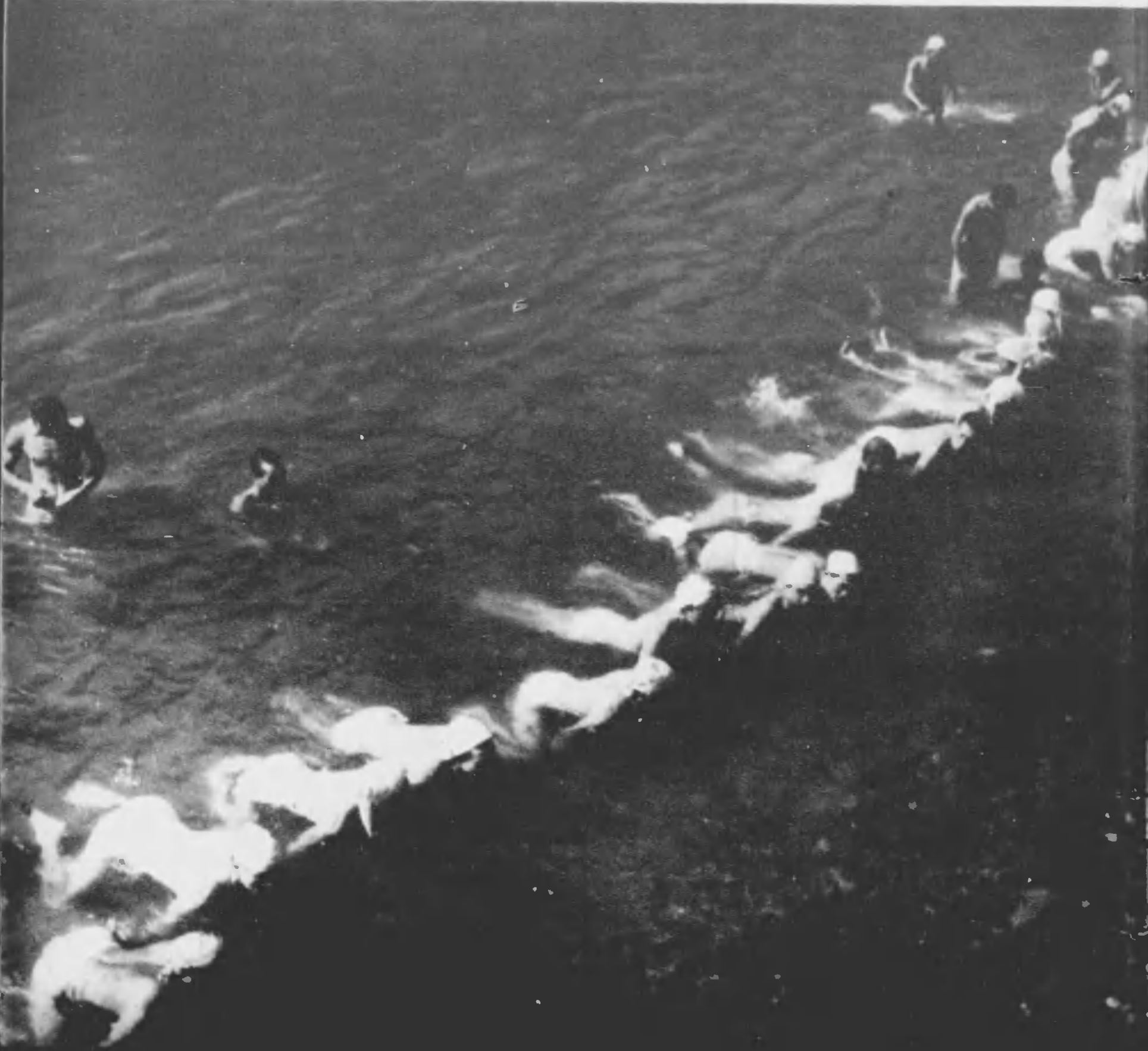
約けつく河原で水着の準備運動

埼玉縣 清水武甲

甲種合格の壮丁も、金杖とあつては海軍男子としてまことに恥かしい水着であり、敵前上陸や敵前渡河に十分の訓練が出来る。埼玉縣秩父町の在郷軍人分會では、このほど三日間にわたつて附近の荒川武甲水泳場で本年度壮丁の水着講習會を開きました。水にはこれまでからつきし息地のなかつた金杖製の面も、さすがに今年は大戦下だけにその気構へはものすこく、緊張一帯死者狂ひの訓練をつけたので、一人残らず見事河原に昇格、「兵隊さん水着」に大きな成果を収めました。



指導員の命令一下軍隊式の訓練が始まる



水着講習會場に見えた壮丁の金杖部隊

指導員から水着時の注意を受ける

誰でも覚えのある金杖必須の水着第一課





いしら夏かスーソスーネヨマに登の紅真
場のご論勿 タラサガリザる味を覚味
すでとこる茹くよも合

サリガニ 殲滅戦

東京市葛飾区

□ たもやバケツを手に四戸名のサリガニ 殲滅部隊が、上小松下小松一帯の吉田めざして進軍する



サリガニの正體。
淡水産の一種で
クロコブツシ
(淡水大蝦)とも
いわれる

東京市葛飾区小松国民学校内の
小松少年團では團員を總動員
して、先生の指揮のもとに
附近一帯の水田を荒す

害虫サリガニの蟻地獄に
進軍、サリガニを泥だらけにし

て取除、鮮々たる戦果をあげました
この害虫サリガニは大正十一年頃アメリカから觀賞用と
して一好事家によつて輸入されたのが、わが國の氣候風土
に適したものが特に東京近郊の水田にまたたく間に繁殖、
苗代や水田にもぐつて稻の根をきり、或ひは連、慈姑の芽
を切断し、町に大穴を開け、泥鰌や餅を食へばす等いたづ
らの限りをつくしてきたもので、東京市農會ではその対策
として、この地方だけでも昨年は農家、學者等の勤勞本仕
を得て六百員も捕獲し、或ひは石灰窒素、ハルタ(除虫菊
劑)等の化學藥劑で殲滅をかけたことなりましたが、
その強い繁殖力と強い生存力のために今日なほこの通り泥
の掃蕩戦が続けられてゐるのです。このサリガニは蟹とそ
つくりの味で仲間おいしく、飼料、肥料にもなりますが、
寄生虫肺腫チス
トマの中間媒介
となりますから
食用に供する場
合は生で食へず
必ず茹るかフッ
イにして食べね
ばなりません



□ カットする眞夏の陽がサリガニ少年達の眞をこがす。だ
が吉田を渡る風の涼しさ、少年達ははれを忘れて害虫退
治に敢闘する

□ イマト、こゝろをひかす

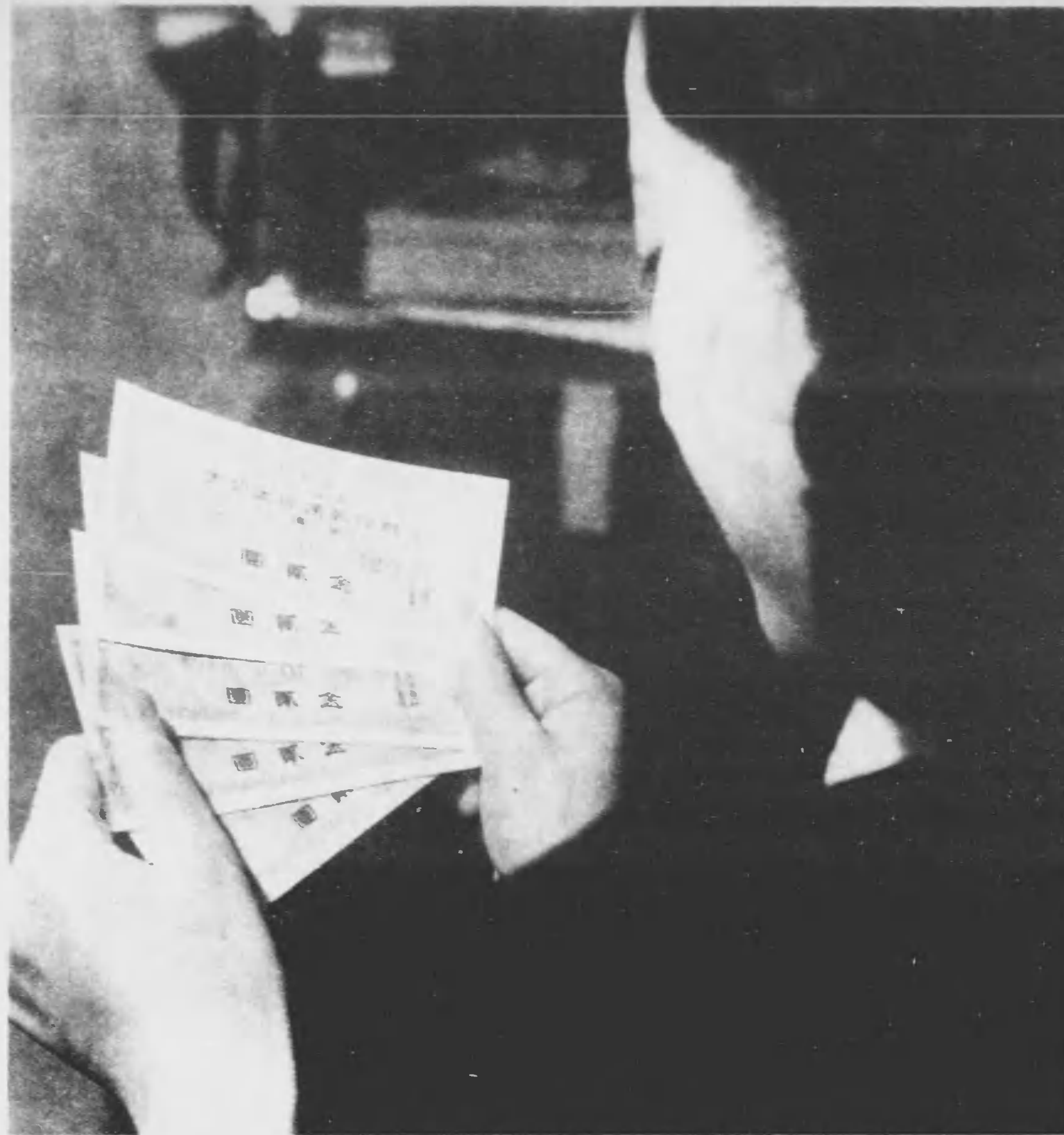


□ いたる山に散らばれた、赤い色のね。前上はれた
サリガニの眞紅の山を圍んで少女達の眼か、



撮影 吉田 榮

東京新聞



てつきんわぐんだ

割増金附戦時郵便貯金切手

一枚二円割増金等千円以下多量・當籤率十分之一枚二枚一

・毎月八月日から賣出します

・賣切れぬ中に早おく郵便局へ

内閣印刷局印刷發行

昭和二十一年八月一日發行